

人口と世帯

人口 415,122人
 男 205,168人
 女 209,954人
 (前月より263人増)
 世帯 175,105世帯
 (前月より175世帯増)
 (19年9月1日現在)

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課広報係
 〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
 市役所の代表電話042・722・3111
 町田市コールセンター042・724・5656
 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>
 携帯版 <http://www.city.machida.tokyo.jp/mobile/>



携帯電話用QRコード

石阪市長と小・中学生が いじめ問題についての座談会

～市長から小・中学生へメッセージを発信～

問指導課 ☎724・2154

市教育委員会では、9月21日、町田市立山崎中学校を会場に、いじめをテーマにした小・中学生の座談会を石阪市長参加のもとに行いました。

座談会では、「勇気をもってみんながいじめをなくすために行動をおこすことが大事」という発言が出るなど、いじめをなくすためにできることは何かと、いじめをなくすために一人ひとりの児童・生徒が真剣に考える機会となりました。

最後に石阪市長が小・中学生に向けた、いじめ防止のメッセージ「勇気」を読み上げ、勇気をもっていじめをなくすために行動することの大切さを訴えました。



町田「みみ」フェスタ2007

10月7日

「その気なら あなたも出来る ごみ減らし」

「ごみの量は、私たちの消費スタイルと密接なつながりがあります。人と物と自然のかかわりを考え、一人でも多くの人が環境問題に関心を持つことが、ごみの減量につながります。」

日ごろからごみの減量やリサイクル活動に取り組んでいる市民、団体等が実行委員会を組織し、今年も「その気なら あなたも出来る ごみ減らし」をスローガンに「第16回町田ごみフェスタ2007」を開催します。

ごみ減量のため、模擬店利用の方は食器、はし、コップ等をお持ち下さい。また、飲食物のお持ち帰りは、できません。

交通 町田バスセンター11番乗り場から市立室内プール経由の野津田車庫行きバスで「市立室内プール」下車。臨時便(有料)も運行します。または、3番乗り場から小山田桜台行きバスで「桜美林学園」下車、徒歩7分

鶴見川の源流バスツアー：3回実施。先着順。当日申込。
 その他：模擬店、施設見学会、フリーマーケット、バザー、PRコーナー、リサイクル関連商品の展示・販売、古紙100%トイレペーパー・詰め替えティッシュ販売、リフォーム家具販売、草花等の販売、スタンプラリー、子ども遊びコーナーなど

「ごみや環境問題を楽しみながら考えていただけるアイデアや工夫いっぱいイベントが行われます。」

直接会場へおいで下さい。
 日時 10月7日(日)午前10時～午後3時
 出展(店)開始は、開会式後15分くらいからです。
 会場 町田リサイクル文化センター
 駐車場は混雑します。
 ペットの入場はできません。

おもちゃ病院：先着50人まで。当日会場にお持ち下さい。部品代は実費、重症の場合はお預かりになります。ゲーム関係は本体、キーボード、専用電源、ゲームソフト等を必ずお持ち下さい。
 まな板削り：先着50人まで。へこんで使いにくくなった木製まな板をお持ち下さい。
 長傘の修理実演・講習：長傘をお持ち下さい。折りたたみ傘、ビニール傘は除きます。修理方法をお教えます(材料費は実費)。

お楽しみによるごみ環境問題の研究発表
 子ども達のダンス(チエリフロッサムジュニア、エンゼルキッズ)
 吹奏楽(武蔵岡中学校、忠生中学校)
 手話コーラス&ダンス(野津田高校)
 チャリディング演技(桜美林大学)

ごみ減量教室
 問ごみ減量課 ☎797・0530

石阪市長からのいじめ防止のメッセージ
 これは、市長が小・中学生にむけていじめをなくすために勇気をもって行動することの大切さを訴えかけるメッセージです。
 また、いじめの根絶には保護者や地域の方々のご理解とご協力がなくてはならないものであり、このアピール文がいじめをなくすために大人として子供たちのために何ができるのか、また何をすべきなのかといったことを考える機会になることを願っています。

「勇気」

小・中学生のみなさん、いじめは、心の弱い人がする行為です。いじめはどんな理由があろうとも許されない卑怯な行為です。また、自分は直接いじめていなくても、周りでいじめを見ていたり、見て見ぬふりをするのもいじめに加わっていることになります。

いじめの側にとっては、軽い気持ちで行った行為でも、いじめられる側にとっては生涯忘れることのできない心の傷となることがあります。

人のいじめ行為を止めることも、自分のいじめ行為をやめることも、自分がいじめられていることを人に訴えることも、みな勇気が必要なことです。勇気とは、みなさんにとって、これからの人生を生きていく上でとても大切な心の働きです。

小・中学生のみなさん、今、勇気をもって、いじめをなくせる人になって下さい。もし、今、いじめをしている人がいたら、すぐにやめましょう。

保護者の皆様、地域の皆様も、子供たちの勇気ある発言や行いを見守り、応援してあげて下さい。どのような行為が人として勇気ある行為であるのかについて、大人の役割として、どうか子供たちにしっかりと教えて下さい。

2007年9月 町田市長 石阪 丈一

ご協力下さい 統計調査

問総務課 ☎724・2106

総務省では、10月1日現在で就業構造基本調査を行います。この調査は統計法に基づいて実施される国の重要な調査であり、調査結果は雇用政策や経済政策を立案する際の基礎資料として利用されます。

調査をお願いする事になった世帯の皆さんには、すでに調査員が調査票を配布していますので記入の上、ご提出をお願いします。なお、調査員は写真付きの「統計調査員証」を携帯しています。調査に関するお問い合わせは、町田市コールセンター(☎724・5656)で受付します。

一人でも悩まずに！心の健康づくり！

気が落ち込み、何もする気が起きなくなり、何をしても楽しくないと思えることが続く、うつ状態になるおそれがあります。うつは、生活の不活発を招き、寝たきりなどの介護が必要な状態になりやすくなります。

うつは特別な病気ではなく、誰もがなる可能性のある病気です。15人に一人以上が一生涯のうちにうつを経験するというデータ(厚生省調べ)もあります。特に、高齢期は身近な人との死別など喪失感を抱きやすい出来事が多いため、うつになりやすい時期です。

うつは適切な治療やケアを受ければ、回復する病気です。表1の項目にチェックの多い方は、一人で悩まずに早めにかかりつけ医や専門医療機関に相談することをおすすめします。

下表のとおり、高齢期の心の健康づくりのポイントについての講習会を開催します。お気軽にご参加下さい。

3月から月1回掲載したこのコラムも今回が最終回です。今後市民の皆さんと一緒に「介護予防のまちづくり」を目指します。

問高齢者福祉課 ☎724・2146

介護予防イキイキ講習会
 「一人でも悩まずに！心の健康づくり！」
 日時 10月22日(月)午前10時～正午
 対象 市内在住の65歳以上の方・100人(申し込み順)
 場所 健康福祉会館(駐車場はありません)
 講師 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 精神科医師 武田充弘氏
 内容 高齢期の心の健康づくりのポイントなど
 申込 電話で10月1日正午から町田市コールセンター(☎724・5656)へ

表1：うつ症状のサイン
 (最近2週間のあなたの様子で、当てはまる項目にチェックして下さい。)
 毎日の生活に充実感がない。
 これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。
 以前は楽にできたことが今ではおっくうに感じられる。
 自分が役に立つ人間だと思えない。
 わけもなく疲れたような感じがする。